

パルティ

2012. 08
VOL.133

特集 人口減少・少子高齢時代の男女共同参画 みんなで変える！vol.1 ソーシャルな子育てを考える ……	2
イベント・講座報告 ……	8
本の紹介 ……	12
ちいき情報 ……	12
こんにちは相談ルームです ……	13
不妊専門相談センターから ……	13
講座案内 ……	14
インフォメーション ……	16



◆男女間格差

日本全体で、一人目の出産で仕事を辞める女性の割合は、100人中62人です。

また、働く女性100人のうち、55人が非正社員です。男性の非正社員は100人中20人です。



◆男は仕事、女は家庭？

男女間格差の背景には、「男は仕事、女は家庭（家事・子育て・介護）」という慣習があります。この慣習は、男女双方の働き方の問題、子育てや介護の孤立化の問題、DV（ドメスティック・バイオレンス。夫婦や恋人など親密な関係にあるカップル間の暴力）の問題などにもつながっています。

◆このままだと、とちぎ村の未来は

家庭や個人に優しくない働き方や、仕事と家庭の両立が難しいことが、非婚・晩婚化、少産化につながっています。このまま少子高齢化や人口減少が進んでいくと・・・労働力不足や福祉に対する負担が増える予想されています。また、推計では、未来は一人暮らしが増えます。一人暮らしが増えると、地域コミュニティのつながりが弱くなり、「無縁社会」になるのではと心配されています。



女性は子育てや介護をしながら働いたり、子育てが終わってから再就職したりするため、正社員になりにくいのです。日本では、管理職100人のうち女性は11人です。アメリカでは43人が、フランスでは39人が女性です。



1世帯の人数（家族）が減り、一人暮らし（高齢者・未婚者等）が増える！

少子高齢化が進むと世帯は？
・とちぎ村の世帯が100世帯だったら、

	2005年	2030年推計
一人暮らし	24世帯	33世帯
夫婦と子ども	31世帯	23世帯
夫婦だけ	18世帯	19世帯
一人親と子ども	8世帯	10世帯
三世帯同居等	19世帯	15世帯

STEP 2 新しい未来を創造していこう

持続可能なとちぎ村の未来予想図を描こう。
誰もが、いきいきと暮らせる未来を創るには、どうしていけばいいのでしょうか？

◆どんな社会になればいい？

「男は仕事、女は家庭」という意識を解消し、仕事も家庭も男女でわかちあい、女性が出産しても仕事を続けられ、男性も子育てや介護がしやすい、そうなれば、仕事と家庭の両立がしやすくなります。また、非正社員の制度や長時間労働を見直し、家庭と個人にやさしい働き方が求められています。加えて、どのような生き方・家族形態・暮らし方であっても、その人がその人らしく生きられるような社会のシステムが必要です。

「男女共同参画」「ワークライフバランス」「多様性の尊重」を進め、持続可能な社会につなげましょう！

男女共同参画



意思決定過程（政治など）に女性増！
出産で仕事を辞めない！
女性管理職増！

ワークライフバランス

（仕事と、家庭や地域活動などの生活の調和）



イクメン・カジダン！男性も介護！

多様性の尊重

家庭、地域、学校、職場、社会、政治・・・様々な場面で、様々な立場の人が集まり、みんなで決めて運営する、多様性の尊重を進めましょう。

- ・女性、男性、多様な性（性同一性障がいなど）...
- ・乳幼児、子ども、青年、大人、高齢者
- ・健康な人、病気の人、障がいのある人
- ・外国人・・・一人暮らし、家族のいる人、一人親家庭...

みんな、さまざま

仕事も家庭も地域も、意志決定も、女性・男性...いろいろな立場の人でわかちあう！
男女間格差が解消され、差別や暴力のない社会へ。ライフスタイル選択の多様性の尊重を。

どんな生き方・暮らし方でも、つながり合えるコミュニティづくりを！

様々なNPOや団体、ボランティアが、コミュニティのつながり合い（子育て・介護・高齢者支援・まちづくりなど）を担っています。

そこで、今号では【みんなで子育て】を、12月号では【みんなで働き方革命】を、3月号では【みんなでのりきる高齢社会】について考えます。

多縁・結縁社会に！



人口減少・

少子高齢時代の男女共同参画

みんなで変える！ vol.1

ソーシャルな子育てを考える

現代社会には様々な問題があります。少子高齢社会の進行や単身世帯の増加、「無縁社会」化、様々な格差の拡大や貧困率の増加、長時間労働・非正規雇用などの働き方、こころの病や自殺者の多さ、孤独な育児・介護、DVや児童虐待などの暴力の問題・・・大人たちも子どもたちも、夢や希望を持ちづらい時代ではないでしょうか。

どうしたら、幸せな社会が築けるでしょうか。人口減少・少子高齢社会における様々な問題を、男女共同参画やワークライフバランスの視点から考えていきましょう。まず、栃木県を100人の村に例えて未来を想像し、解決策として今号では「社会全体で支える子育て」について、次号12月号では「働き方」について、3月号では「高齢社会」について考えてみます。

STEP 1 わたしたちの未来を想像してみよう

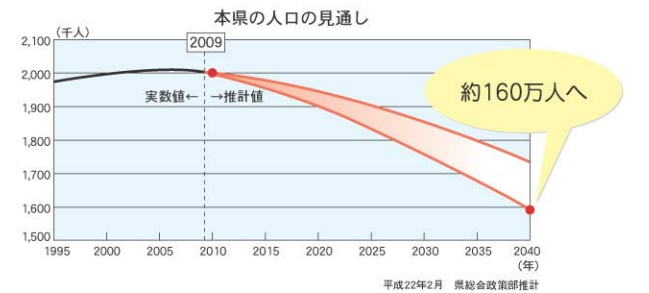
栃木県がもし100人の村だったら・・・
今の社会はどうなっているのか、未来はどうなっていくのか、考えてみましょう。

とちぎ村

今、栃木県には199万3283人の人が住んでいます（2012年4月1日現在）。今の栃木県を人口100人の「とちぎ村」に縮めて考えてみます。

◆人口減少

約30年後の2040年、とちぎ村の人口は、何人になるのでしょうか？
なんと、100人から約80人に減少します。



◆少子高齢社会

30年後、子どもと大人の人数は減り、お年寄りの人数が増えます。

	30年後	
	2010年	2040年
子ども (年少人口 0～14歳)	14人 減	8人
大人 (生産年齢人口 15～64歳)	64人 減	43人
お年寄り (老年人口 65歳以上)	22人 増	29人

総人口が80人に減ると
大人、子ども、お年寄りの割合は...



2010年



2040年



今はお年寄り1人を大人3人で支えています。
2040年には、お年寄り1人を大人1.5人で支えることになります。
未来は、介護休暇をとる人が増えるでしょう。

◆少子化の直接の原因は

とちぎ村は今、少子化が進行しています。結婚しない人が増え（非婚・未婚化）、結婚する年齢が上がり（晩婚化）、女性が生涯に生む子どもの数が減っています（合計特殊出生率の低下、少産化）。

◆仕事と家庭の両立困難

なぜ非婚・晩婚・少産化が進んでいるのでしょうか。

男女とも、給与が低く雇用が不安定な非正社員（パート、アルバイト、派遣社員など）が増加し、「収入が不安定で結婚できない」という声があります。父親たちからは「仕事が忙しく、子育てや家事の時間がとれない」と悩む声も。

父親など家族の子育ての協力が足りなかったり、子どもを預けづらかったりすると、女性たちは「子育てをしながら働き続けることが難しい」と感じます。



「ソーシャルな子育て」

母親の
心を支え
笑顔が広がる
場所



笑顔でつながる
利用者と岡島さん（右）



相談や癒しの講
座の他、資格取
得系の講座など
たくさん



「広場の利用者だったスタッフも多く、
支え合いながら利用者の心に寄り添う

母親たちのココロに寄り添い、ほんとに安心できる場所

しゃんしゃん広場

<http://ashikagatomo.chu.jp/syantopindex.html>（足利市）

毎日忙しく子育てをする母親たち。その中には思い通りにならない子育てへの焦りや社会から取り残されるという不安感、あるいは、引越してきたばかりで話す相手もないなどの悩みを持つ母親も多い。「あしがが子育て応援ネット」を母体にもつ「しゃんしゃん広場」は、そんな母親と未就園児が、おもちゃや絵本に囲まれた場所です。安心して過ごしながら親子関係を築き、育児仲間との出会いや、母親としてではない自分の時間、を作る居心地のいいスペースだ。

代表の岡島敦子さんは「これから社会に出る子どもたちが温かな愛に包まれ、安心して、希望に満ちて健やかに成長してほしい。そのためにも、まずお母さん自身が自己肯定感に満ち、大きな満足感を持つて育児にあたる必要がある。社会が、母親を支えなくては」と語る。助産師にも相談できる0歳児と保護者対象の「赤ちゃん交流会」や親子で楽しむ「ベビータンゴ」、母親の癒しの「託児付リンパマッサージ」やキヤリアップにも役立つ資格取得講座など、多くの講座を開催。そのほかにも未就園児が入園に向けて基本生活を身につける親子通園「ハート組」など様々な方法で母親たちにとって子育てしやすい環境を考える。

「子育て支援というよりは女性の生き方支援。子育てや出産で180度変わる人生をもう一度生きなおす場になってほしい」と岡島さんの思いを語ってくれた。

父親たちの活動

父親が中心となり、自閉症と発達障害児者のサポート活動

NPO法人 おひさまクラブ

<http://homepage3.nifty.com/ohisama/>

自閉症と発達障害児者をサポートする県内活動グループ。子ども達が社会の中で「生きる力」を発揮できるよう、医療・教育・行政機関等と繋がりながら、幼児期から成人期まで一人一人に合わせたオーダーメイドの支援を行っている。専門家と定期的に話しかけること、悩みを共感共有できる関係ができることがよかったという参加者の声あり。現在、会員数は64家族。



障害を抱える
子を支える
親の会

映画を通して子育ての多様性を考える

市民グループ・アグレッシブ@UTUNOMIYA

妊娠・出産・育児・流産・死産、不妊、障害などを幅広く捉えた映画「うまれる」を宇都宮で4月に上映、親子関係やパートナーシップ、男性の役割、そして「生きる」ということを考える時間をもった。市民グループは、インターネット交流サイトの「フェイスブック」で知り合った仲間。震災を機に「生きる意味」に気づき、上映委員会を立ち上げた。

仲間と
市民レベルで
活動

不登校や引きこもりの若者や家族を支援

NPO法人 KHJとちぎベリー会

<http://www.khj-tochigiberry.net/>

不登校や引きこもりの当事者やその家族を対象に、月例会で同じ悩みを持つ人同士の話し合いや、勉強会、専門家の講演会などを開催。活動により家族が元気になって、家庭内での対応を変えていくことで本人が変わることを目指している。

そのほか相談や情報提供、若者の居場所づくりなどのほかに、「親父の会」の学習会を年6回開催。回復する過程で父親の関わり方が重要ということから、父親のための「引きこもり回復プログラム」を通して、家族のできることや関わり方を考える。



引きこもりの
相談会・勉強会

を考えよう！

p2～3「とちぎの100人村」から、人口減少・少子高齢社会の問題に対応し、持続可能な未来を創るために、男女共同参画やワークライフバランス、多様性の尊重が必要だということがお分かりになりましたか？

今号では、子育てを支えるNPOのとりくみ、父親の子育て、企業の子育て支援など、社会全体で支える子育てについて考えてみましょう。

子育てを支えるNPO、団体のとりくみを紹介します！



児童虐待が増える中で、私たちにできること。

NPO法人 だいじょうぶ

<http://www.npo-daijobu.com/>（日光市）

2005年に子どもへの虐待防止を目的として設立された日光市のNPO法人 だいじょうぶ。24時間年中無休の電話相談、育児困難家庭への訪問、母子の居場所作り事業、子どもの一時預かりなど、行政の手が行き届かない悩みを抱えた子どもや親の支援に、市民が主体となって取り組んでいる。代表の畠山由美さんに、その取り組みについて伺った。



NPO法人 だいじょうぶ 代表
畠山 由美 さん（日光市）

子どもを
虐待から
守る

■実家の母になったつもりで、「母親の支援」が重要

学校や行政、民間団体と連携して、虐待が疑われる家庭に早い段階で手を差し伸べることで救える家庭もあります。

ある母子家庭の家に行った時、部屋はごみだらけでした。母親は夜間の仕事をしていた、食事はコンビニのお弁当を買い与えるだけ。疲れて子どもの世話や部屋の片付けもできないという生活でした。相談したり、一緒に考えてくれる相手や環境もない孤独な母親を積極的に訪問しています。「だいじょうぶ」のスタッフが実家の母になったつもりで、相談相手になり、家事、育児など一緒に寄り添いながら支援しています。

■「はざま」で苦しむ子や親のホッとできる居場所

古民家をリフォームした「Your Place ひだまり」は、地域で孤立しがちな母親や子どもたちが、気軽に立ち寄れてホッとできる居場所です。ここでは、家に一人ぼっちで何も食べるものがなかったり、お風呂にも入れないなど、様々な家庭の事情により支援が必要な子どもたちが放課後からの時間を過ごしています。宿題をして遊んだり、入浴と夕食も済ませて自宅へ送り届けます。その他、悩みを抱えた母親が相談に来たり、健診や通院の間のお子さんの預かりの場などとして活用しています。

子どもたちは、ひだまりでの生活を通して、学校の忘れ物がなくなったり、ごみの片付けや掃除、料理もできるように



なり、少しずつ自立できるようになってきました。また、相談に来る母親は、「話ができ、辛さが楽になった」と帰って行きます。ひだまりに来る子どもを通して、家庭とのつながりもできました。

■虐待に悩む親たちの回復を目指すプログラムを提供

子どもへの虐待的行動に悩む親を対象に、県内初の試みとして、日光市と児童相談所とともに、少人数の語り合いを中心とした「MY TREE ペアレンツプログラム」を今年9月から開講します。13回のカリキュラムと4回の面接を通して、親自身が「私は大切な存在」だと気づき、「私は私でいいんだ」という自尊感情を取り戻すことで、行動パターンを変えていくことが目的です。虐待の連鎖を止めるために、親への回復支援を行っていく予定です。

■地域の子育て支援が、

ますます盛んになっていきますように・・・

「だいじょうぶ」の活動を通して、傷ついていた子どもたちの心に入っていたことや、親からもSOSが出てきたことは嬉しいことです。しかし、まだまだ支援の手を必要としている家庭はたくさんあります。これからも継続した支援をしていくためには、多くの方々のご理解、ご協力が必要です。子や親に寄り添いながら地域の子育て支援を盛んにして、児童虐待が止んでいく社会づくりを目指していきます。

家庭環境に恵まれず家庭で育つことのできない子どもたちを支える

NPO法人 青少年の自立を支える会
自立援助ホーム「星の家」

<http://www2.ucatv.ne.jp/~sasaeru.snow/>
（宇都宮市）

親の支えの
ない子どもの
自立



生活の基本は
みんなで食べる食事から



みんなで就職活動の
履歴書作り

虐待や家庭の事情などで親とは暮らすことができず、義務教育終了後、あるいは高校中退後、就労せず不安定な生活をする子どもたちの社会的自立を支える「星の家」。ホーム長の家族やボランティアとの家庭的な雰囲気の中で、普通の生活を、仕事をしながら資金を貯めて自分分でアパートを借りて自立するまでを支援する。現在は15歳から20歳までの8人の子どもたちが生活している。

ホーム長・星俊彦さんは「自立していくためには誰でも、心の中に寄り添う向き合う誰かがいなくてはならない。ふつつつ親がその役目を担うが、親がいない場合は社会がそれをしていかなければならない」と語る。

また、「誰かと関係をつくる生活の中でさまざなことが起こり、それらの情緒的な結びつきが土台となって、次第に自立ができる。その期間は、長くても1年半くらい。そのプロセスを踏み関係ができたら「星の家」を出てひとりでやってみる。出てからが自立の本番です。何かあれば関係ができていたので、また帰ってきますよ。ホームが子どもたちの「実家」としていつまでも「心の安全地帯」として役割を担っていく。

「家庭環境に恵まれない子どもたちの問題をみなさんも自分たちと関係がないと思わないでほしい。知らんぷりせず、みんなで考えていってほしい」と訴える星さん。社会全体で取り組んでいくためにも、まず理解を、イベント等へ足を運んでほしい。

○出張ワークショップを実施しています

学習ノート『未来を想像して 新しい未来を創造しよう』を教材として、中学生～大学生、大人向けのワークショップを実施しています。「100人村」で未来を想像し、みんなで解決策を話し合っていきます。

冊子と出張ワークショップの
お問い合わせは、
パルティ 啓発支援課
電話 028-665-7706



冊子を配布しています

男女共同参画の視点から、人口減少・少子高齢を考えよう！（p2～3をより詳しく説明しています!!）

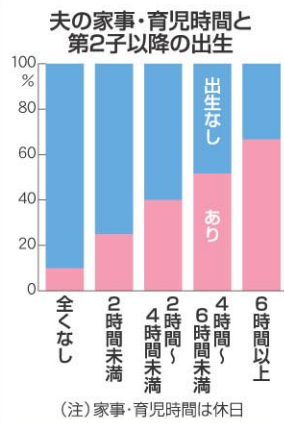
男女共同参画&キャリアを考える 学習ノート

『未来を想像して 新しい未来を創造しよう』

（中学生用／教師用参考資料）

公益財団法人 とちぎ男女共同参画財団 編集・発行
人口減少、少子高齢…現在の社会について考え、その対応策としての「男女共同参画」「ワーク・ライフ・バランス」「多様性の尊重」を紹介。中学生が自身の職業観の形成やキャリアプランニングに活かすための学習ノート。新しい未来を創るために、高校生以上や大人向け研修にもご活用ください！「教師用参考資料」には、本誌2～3ページに関する詳細なデータや資料が満載です。





ソーシャルな子育てを考える

夫婦の子育てを考えよう！

夫婦・家庭で
助け合う

厚生労働省が今年度発表した第9回「21世紀成年者縦断調査」の表(左)が示すように、子どもを持つ夫婦は夫が休日に家事や育児をする時間が長いほど第2子以降の生まれる割合が高くなる傾向があります。夫婦の協力があってこそ、楽しみながら充実した子育てができるのではないのでしょうか。ここでは基礎となる夫婦単位の子育てについて考えてみましょう。

妻のキャリアを応援



王生町
田上 直志さん (40代)
美智代さん (30代)
長男 (8歳)
次男 (6歳)
三男 (2歳)

妻の美智代さんは乳児院で働き、勤続15年のベテラン。その間、子育てとの両立に悩む時期もあったそうです。それに対して、夫の直志さんは、これまでのキャリアを大切にして、仕事を続けてほしいと思っています。

内閣府の調べでは、子育て家庭の妻86%が正社員やパートで仕事に就くことを希望しています。しかし、勤務体系や職場環境などから、就職は難しいのが現状です。

先日新聞でその記事を見た直志さんは、その思いがより強くなったと語ります。女性のキャリア形成の現状と多くの課題について、改めて考えさせられたのだと言います。

家事・育児のノーマライゼーション

直志さんにとって、今こそやって当たり前の家事・育児も、長男の出産までもなくの頃は「手伝ってあげている」という意識が強く夫婦間の些細な言い争いが絶えなかったそうです。その頃を振り返り、美智代さんは、「当時は、夫のやる事にいろいろ口出しをしていたのですが、それをなくしてから意識が変わったのかもしれない。うまく夫のやる気を引き出せたのだと思います。」と語ります。

男性が家事・育児に積極的にかかわることが「ノーマル」であるという事を「家事・育児のノーマライゼーション」と呼んでいる直志さんは、子どもたちにも今からその意識を持ってほしいと語ります。また、講師を務める専門学校生徒たちにも、この「家事・育児のノーマ

楽しみながら子育てに励む、2つのイクメン家庭にインタビュー

ライゼーション」を伝え、家族支援や子育て支援につなげたいと考えています。

地域とのかかわり自立心を育てる

子どもたちと、地域に積極的にかかわっている田上さん一家。廃品回収の手伝いなども楽しみながら参加しています。「地域と積極的に関わることが防犯につながり、また、子どもたちは大人の中で社会性も身につきます。隣近所に、短時間なら子どもを見ていただくこともあります。」と話す美智代さん。

長男・次男はボイスカウトにも参加。地域とのかかわりが一層増えているといいます。「ルールを守りながら自然の中で遊んだり、奉仕活動などをして、多くの学びの機会を得ているそうです。

今の不安は学童保育が小学校3年生までで終わってしまうこと。「親として今できる事は、少しずつ芽生えてきた子どもたちの自立心を、大切に育てていくことです。」子どもの心と真摯に向き合う子育てを実践中です。

比べない育児を



宇都宮市
半田 光義さん (30代)
智美さん (30代)
長男 (1歳)

半田さん夫婦にとって、育児とは「くらべない・のんびり」が基本。ダウン症で産まれたお子さんは、成長がゆっくり。いつも夫婦で「親の工」はダメ」だと話しているそうです。

出産当初の心境を、妻の智美さんは「ダウン症の可能性があることがわかってからは、息子の将来を悲観して泣いてしまう事も、でも泣き悲しむのは親の工」だ」という夫の言葉に、はっとしました。自分が描く将来像

を、息子に押し付けていたのかもしれないと気がついたので。正確な診断が下された時には、清々しささえ感じ、夫婦でしっかりと受け止める事ができました。」と語ってくれました。

夫婦時間を大切に

夫婦間でしっかりコミュニケーションをとることが、子育ての基本だと考えている半田さん夫婦は、子どもが寝た後二人だけで話す時間を持つたり、ボランティア活動などに一緒に参加しています。夫の光義さんは、昔から両親が協力し合っていたこともあり、それがあたりまえのように感じているそうです。11月には、智美さんが仕事復帰をしますが、短時間でも毎日コミュニケーションをとって、お互いの意思疎通に心がけたいと考えています。

家事は女性だけの仕事ではない

今、光義さんは家事の8割をしています。それは智美さんから言われたのではなく、子どもの頃から両親を手伝い、家事を女性だけがやるものだという感覚がないからだといいます。これは、結婚当初から変わっていません。そのことに智美さんは「その分、私は療育や勉強会などに時間をかけることができます。夫の協力には感謝の気持ちでいっぱいです。」と語ります。

ロールモデルになる

光義さんの仕事は商社での営業です。残業の多い社員もいて、子育てにやさしい職場環境とは言えないそうです。「これから私は中間管理職になっていきますが、自分自身がロールモデルになって、若手社員にワークライフバランスを根付かせたいですね。ただ単に早く帰れというわけではなく、段取りよく効率的に仕事をしてほしい。その上で私生活を充実させれば、それがさらに仕事にもいい刺激を与えてくれるはずです。」と語ります。

「子育てが本当に楽しい」という半田さん夫婦。夫婦の絆が「心の余裕」につながっています。

職場から 子育てを考える

株式会社
マリンロード
(宇都宮市)
職種：WEB製作業

子育てと仕事の両立支援

(女性が働きやすい職場づくり)について

パーティ 取り組みを進めた経緯と支援の内容を教えてくださいませんか？

石川さん 両立支援の取り組みを始めたのは、8、9年前からです。マリンロードでは、男女区別なく働いてもらっていて、優秀な人材が出産や結婚を機に辞めてほしくないという気持ちでした。法律と照らし合わせながら、しくみ作りを積極的に進めました。出産の後職場に復帰しやすいように短時間勤務も選択できるようにしています。

パーティ 実際に育児休暇を取得し、職場に復帰されてどうですか？

Aさん 残業が多い職種なので懸念もありましたが、社内(子育て中の社員がいること)の意識が浸透していて、早く帰宅しやすいです。

Bさん 今までの社員の方の実績もありましたし、職場に復帰することへの不安はありませんでした。会社の体質として、社員の意見を聞いて寄り添い、相談するとアクションを起こしてくれることも心強いです。

パーティ 特徴的な育児との両立支援として「短時間正社員」がありますね。

石川さん 給与については、勤務時間に応じて基本給を減らしています。福利厚生などは他の正社員と同じです。短時間正社員から(一般の)正社員への切り替えは自由です。利用している社員は、現在2名で、男性社員の実績はゼロです。今後は育児のためというより、介護のための利用者がいるのではと考えています。

子育て支援の成果について

パーティ 女性の能力発揮の推進(ポジティブアクション)や子育て支援の取り組みが会社の活性化等にも結び付いていますか？

働く夫婦や家族が仕事を継続しながら子育てができる職場環境の充実が求められています。今回は、子育てと仕事の両立を支えるための施策がとられている、株式会社マリンロード(宇都宮市)を訪ね、代表の石川さんと育児をしながら仕事を続けている3人の女性社員にお話を伺いました。



今回お話を伺った3名の女性



会社の様子

TOPICS!!

平成24年7月1日から改正育児・介護休業法が全面施行されます！

男女ともに、仕事と家庭の両立ができる働き方の実現を目指し、平成21年、育児・介護休業法が改正されました。平成24年7月1日より、これまで適用が猶予されていた以下の制度が従業員数が100人以下の事業主にも適用になります。

！短時間勤務制度 # 所定外労働の制限 # 介護休暇

1. 短時間勤務制度(所定労働時間の短縮措置)

- 事業主は、3歳に満たない子を養育する従業員について、従業員が希望すれば利用できる、短時間勤務制度を設けなければなりません。
- 短時間勤務制度は、就業規則に規定される等、制度化された状態になっていることが必要であり、運用で行われているだけでは不十分です。
- 短時間勤務制度は、1日の労働時間を原則として6時間(5時間45分から6時間まで)とする措置を含むものとしなければなりません。

2. 所定外労働の制限

- 3歳に満たない子を養育する従業員が申し出た場合には、事業主は、所定労働時間を超えて労働させてはなりません。

*対象となる従業員については、1日の所定労働時間や引き続き雇用された期間などによって規定があります。



厚生労働省のHPのパンフレットから抜粋
http://www.mhlw.go.jp/bunya/koyoukintou/pamphlet/pdf/ikuji_h23_9.pdf

育児・介護休業等に関するお問い合わせは、最寄りの都道府県労働局雇用均等室へ
育児・介護休業法に関する情報は、厚生労働省のHPで紹介しています。

石川さん 全員が正社員という同じ条件にした方が、成果が高いのではと思います。また、社員の評価を性別に関係なく、能力で判断し、適材適所で仕事を任せています。女性には効率的に働いてくれるし、リーダーシップをとってくれています。

パーティ 女性も男性も公平に評価されることについては、Cさん 仕事に対して意欲とプレッシャーの両方があり、きつい部分もあります。ただ、会社側から無理強いはいされないので、会社に貢献したいという気持ちです。

マリンロードでは、企業の側が従業員の負担を軽減し、共に成長し合える関係になっています。女性にとっては仕事へのプレッシャーも増えますが、その分やりがいも強くなっているようです。「支援している」のではなく「会社にとって必要だからしている」という代表の石川さん。そのような意識が多くの企業に浸透していくことを願っています。

石川さん 現在の社内規定ではクリアしていますし、休業日数も上乗せしています。今後必要なことがあれば、その都度声を聞きながら進めていきたいと思います。

パーティ 育児支援について、中小企業ならではの強み、柔軟性はありますか？
石川さん 「支援している」という意識はなく、「必要だからしている」という意識です。逆に、中小企業だと、こついったことをやらないことで、マイナスや弊害も多いではないでしょうか。
パーティ 平成24年7月1日より改正育児・介護休業法が全面適用になりますが、所定外労働時間について子育て中の従業員に対する配慮はありますか？

イベント・講座報告

男女共同参画社会を考える とちぎ県民のつどい 6月24日(日) 団体の発表・記念式典・講演

講演

「ワーク・ライフ・バランス
～高齢社会の仕事と子育てから、
仕事と介護への変化」講師 (株)ニッセイ基礎研究所 主任研究員
土堤内 昭雄

男女参画社会基本法の公布・施行日を記念して、毎年6月23日から1週間を『男女共同参画週間』と定め、全国各地で啓発活動が展開されている。本県では、男女共同参画社会を考える「とちぎ県民のつどい」を6月24日、パルティにおいて開催した。

午前中は、県内各地で男女共同参画を推進する4グループが、長年の活動を報告したり、デートDVを伝える寸劇や子ども向けのペープサート・紙芝居等を紹介した。

男女共同参画
地域推進グループ・団体等の発表紙芝居やペープサートで
男女共同参画を考える

迫真の演技 デートDV寸劇

午後は記念式典と講演が開かれた。記念講演では、ニッセイ基礎研究所主任研究員の土堤内昭雄さんが、「ワーク・ライフ・バランス～高齢社会の仕事と子育てから、仕事と介護への変化」と題して、人口減少・少子高齢社会が進み、これからは管理職男性も介護をするような時代になっていくこと、男女が共に仕事も家庭も分かち合う大切さを話された。

その2

パルティほっとシアターcafé『ダブルシフト パパの子育て奮闘記』6月2日(土)

子育て支援先進国スウェーデン映画を
観て(右)、ワークライフバランスや
子育ての悩みなど参加者同士で意見交換

参加者の声

映画そのものに
興味があり、
共感できる内
容だった。スウェーデン
の子育て・働く
環境を知ること
ができた。映画も面白くて、
コーヒーもおいしく、
おしゃべりも楽しくてよかったです。
託児付きでゆったりできた。夫婦で参加。転勤族で
いろいろな場所に友人
はいますが、じっくり
仲良くなれません。色々
な講座に夫と参加して
顔みしりをつくるように
しています。映画を通して
盛り上がった子育て談義

子育て世代の母親や父親などが子どもを託児室に預け、子育ての映画を見たり、お茶とお菓子を味わいながら子育て談義に花を咲かせたりと、ゆっくりとしたひとときを過ごした。

映画は、子育て支援先進国スウェーデンが舞台の「パパの子育て奮闘記」。登場人物の生き方や考え方に触れ、多様な生き方を学ぶ一方、子どもを育てる難しさが浮き彫りになっている現代社会で、実際にどのように男女で育児を担っていったらいいのかなど、ワークライフバランスも含めて考える機会となった。

グループになったのフリートークでは、参加者同士が自分自身の子育ての悩みや現状などを気軽に意見交換できる和やかな場となった。

パルティ
子育て特集関連講座

その1

父親の子育て応援講座～育児&育自を楽しむあの手この手～(前期:全2回)

第1回 7月21日(土)

子どものやる気を引き出すコーチング
～あなたの言葉で子どもは変わる!～講師 生涯学習開発財団プロフェッショナルコーチ
(株)コーチ・エイ CTP クラスコーチ 武井 八重子

講座の様子



「聞く」=傾聴

- 2人組になり、自己紹介。相手の情報を自分の言葉で、グループ内のメンバーに伝える。
- 「聞く人」と「話す人」に役割を決める。「聞く人」は、最初は相手の話を良く聞き、徐々に無視していく。「話す人」は自分の気持ちの変化に目を向ける。

✓ 自分の話を聞いてもらおうと、自己肯定感が生まれる。子どもの話を聞く時も、興味を持って聞くことが大切!

「承認」=相手の存在を認める

- 「子どもの好きなところ(強み)」を20個書いた後、自分の子どもを自慢する気持ちで、グループ内で発表した。
- 1人2個ずつ、**相手を認める言葉**を言う。

ありがとう

すごいですね!



講師 武井八重子 さん

- “あなたの言う「いい子」とは、何を持っているか?” など、グループで話し合い、書き出した。

✓ 親の言葉が、子どものやる気を引き出します。できて当たり前と捉えずに、ひとこと言葉をかけてあげましょう。

第2回 7月28日(土)

生きる力を育てる ～遊びで育つ子どもの力～

講師 宇都宮市体験活動協会会長
宮のものづくり達人リョウザン
坂井 栞山

子どもの「生きる力」は遊びの中で育まれる。ベーゴマの名人でもある講師の実体験をもとに、子どもに遊びを体験させる大切さや身近な材料を使ったおもちゃ作り、ベーゴマ遊びなどをした。

子どもを成長させるのが成功体験

遊びは、練習や失敗を繰り返しながら上手になる。

✓ 成功した時の“やったー”という達成感が子供を成長させる。



講師 坂井 栞山 さん

大人の適切な指導で子どもは伸びる!

大人がその子どもに合わせて、工作道具の使い方や遊び方などを適切に指導すれば、子どもは何でも上達する。

子どもが驚くようなおもちゃを作る

紙と竹串を使った「紙トンボ」や厚紙で作る「からくりミニ絵本」など、身近な材料(!!安い、"手に入りやすい、#加工しやすい)で楽しいおもちゃが作れる。

✓ のびのびと育てて、実体験をさせると、子どもは伸びる!



「からくりミニ絵本」
1冊の絵本に16枚の絵が
次々現れる不思議な絵本↓

紙
トン
ボ

つながる！ 男女共同参画セミナー 基礎コース ココロ とカラダのハッピートレーニング (全5回)

第4回

6月30日(土)

ストレス・コーピング講座 ～ストレスを上手に逃がすしなやかな心の持ち方～

●ストレス・コーピングとは？

ストレス=刺激(ストレッサー)が引き起こす「ひずみ」のこと。コーピング=対処法。

ストレス・コーピングとは、ひずみ状態(ストレス状態)を平常な状態に戻そうとする試みであり、そのスキル。

●ストレスの種類

良いストレス

目標に向かって頑張る時に感じるようなストレス。

悪いストレス

具体的な目標がなく、ストレスが気持ちを落ち込ませ、悶々としている状態。



コーピング
が必要。

●セルフトーク(心の中の口癖)

セルフトーク=心の中で自分に語りかけている言葉(心の中の口癖)

その人の「思考のクセ」を反映。「どうせ」「でも」「だって」「どうして」等、マイナスのセルフトークを持つ人はマイナスの思考回路を持っていることが多く、ストレスを生じやすい可能性が…。

「もうこれだけ
しかない…」よりも
「まだこれだけある！」
のように

プラスの
セルフトークを持とう！

35項目の質問に答えて
自分のストレスタイプを割り出します。



あなたはどの
ストレスタイプ？



株式会社ビジョンテック
代表取締役
人材コンサルタント
真山 美雪

第5回

7月15日(日)

元気をつなげるネットワークづくり ～私が変わる、社会を変える！～



宇都宮大学教授
廣瀬 隆人

●私たちがつくってしまった“無縁社会”

これ以上自分のことで
誰かに迷惑をかけたくない…



…という考えが、無縁社会の始まり。

人とつながるネットワーク社会とは、「互いに迷惑をかけあう社会」また「それを許しあう社会」である。

「人に愛されること、人に褒められること、人の役に立つこと、人に必要とされること。この4つがあれば、人間は頑張って生きていける。ダメな自分も受け入れて、他者とのつながりを作っていかなければ人間は幸せになれない」と廣瀬さん。笑いと言気付きと納得の最終回でした！

●“変わる”とは“主体になる”ということ！

学習活動(大人の学び)を通して、「成り行き任せの自分」ではなく、変わる「主体」になることが大切。

●大人を変える、3つの“R”

Reflection(ふりかえり)

= 明日をどうするかを考えるのが“ふりかえり”。

Respect(尊重)

= 知識のある自分に出会い、自分を“尊重”できる。

Repeat(繰り返す)

= 良い言葉(ポジティブな言葉・エンパワメント言葉)を“繰り返す”。

ふりかえりは、顔は後ろを向いて、体は前を向いている状態。後悔するのではなく、これからどうやって生きて行くかを考える。前向きな人生を歩く為に「ふりかえり」をすることが大切！

参加者の声



●人はいくつになっても学ぶことによって変わって行くことが出来ることを知りました。(60代・女性)

●短い時間だったが内容が充実していた。自分を見詰め直すことが出来た。(40代・男性)

●日頃お話をする機会のない立場の方々と話すことが出来たことがよい経験となった。(30代・女性)

●自分をしっかり見つめ、ほっとしました。体がラクになりました。(50代・女性)

●グループで話すことで、自分のことについて改めて振り返ってみたり、他の方の考え方を知ることが出来た。(40代・女性)

●男女共同参画の大切さだけでなく、人と人とのつながりの大切さをより実感する内容だった。(50代・男性)

●毎回はっとなることがあった。実践し、良い習慣を付けて行きたい。(20代・女性)

●グループワークが楽しかった！(30代・女性)



第1回

6月9日(土)

ホリスティックな生き方 ～自分OK、あなたOKの人間関係を築く～

●ホリスティック

(総合的・包括的に考えること)

がキーワード！



現代社会は、自分のこととからだだけではなく、人と人、家族、地域、職場がバラバラになりがち。

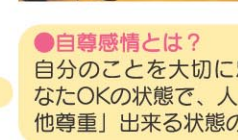
ここからからだ、人間と社会をホリスティックに考えることで、本当の幸せが見えてくる！

●「話す」ことで手放せるものがある！

人に話せたら、自分から手放せる。手放せないでずっと抱えていることでからだやところが病気になる。信頼できる良い聞き手に話せることが幸せ、元気の秘訣！



ベアワークの「コマ」。「辛いこと、人に話せる方ですか？」



●自尊感情とは？

自分のことを大切に思える感情。私OK、あなたOKの状態、人とのつながりの中で「自己尊重」出来る状態のこと。



HEALホリスティック
教育実践研究所 所長
ファシリテーター
金 香百合

第2回

6月16日(土)

「男だてら」に「女泣き」～「枠組み」を見つめ直してみよう～



静岡県立吉原高等学校
校長
奥山 和弘

●男らしさと女らしさに秘められたメッセージ(某中学校で実施したアンケートより)

【男らしさ】=つらくても泣かない、勇ましい、運動神経が良い、力強い…etc

⇒ 激励「がんばれ」メッセージ

【女らしさ】=上品、か弱い、乱暴な言葉遣いをしない、家事や料理が得意…etc

⇒ 抑制「でしゃばるな」メッセージ

●「枠組み」とは？

◆生物学的な違い(女性は妊娠・出産の可能性を持つ)が拡大解釈されたイメージ ⇒ 育児・家事に向いている？

◆平均値や傾向(男性の握力平均値が女性の平均値より高い)が一般化されたイメージ ⇒ 男性は強い、女性は弱い？

「枠組み」にとらわれない

男女共同参画社会とは？

性別に関わりなく多様な活動が選択できる社会=真の意味での「適材適所」が果たされている社会である。

「男とは」というイメージが多様な活動の選択を妨げる？

時代によって変化する男女のイメージを「ジェンダー」と呼び、「生物学的な性差」と区別することで、男女共同参画社会が問題としていることが明確になる。

自身の子育て経験や黒田三郎さんの詩を例に挙げ「子育てに関わることで得るものもある。(父親も)子育てに関わらないともったいない！」と笑顔の奥山さん。こころ温まるお話でした。

第3回

6月23日(土)

アサーティブ・コミュニケーション ～あなたの気持ち、伝えていますか？～

●コミュニケーションのパターン

ドッカン

人に食ってかかる攻撃的なタイプ。

ネッチー

攻撃性を隠して相手をコントロールするタイプ。

オロロ

自己犠牲的で、ふみにじられても黙っているタイプ。

アサーティブ・コミュニケーション

自分の気持ちを伝えるだけでなく、相手のことも考え、お互い話し合いながら共に解決していこうとするコミュニケーションの考え方。相手とよい関係を作るためのコミュニケーションをする際の柱、指標となる。

●アサーティブなコミュニケーションの4つの柱

対等 ⇒ 自分を卑下しない、相手を見下さないこと

誠実 ⇒ 自分にも相手にも嘘をつかないこと。

率直 ⇒ おだやかにわかりやすく伝える。

自己責任 ⇒ 自分の言動は自分で決定し、その結果は自分で引き受ける。

●伝わる！気持ちの伝え方

！ 的をしぼる。

" 繰り返し自分のポイントに立ち戻る。

気持ちを言葉にする。

\$ ボディランゲージははっきりと。

% 相手を理解する。



アスク・ヒューマン・ケア
ライフスキル・センター
室長
木村 久子

ロールプレイの「コマ」代表者のアサーティブな言葉に「変わった！」という歓声が☆

「自分も相手も大切に、まずは自分に誠実で率直な言い方で伝えることが大切です」と木村さん。自分の気持ちとじっくり向き合った一日でした。



パルティ 情報ライブラリーから

本の紹介

うちの科学



内田 麻理香著／丸善出版

サイエンスライター内田麻理香氏によるサイエンス雑学集。「料理はなぜその調理法をするのか?」「もっと料理をおいしくする方法とは?」を中心に家事を楽にするママ知識。身近な生活の中での科学がおもしろい。

パルティのライブラリーコーナーには約20,000冊の図書があり、ホームページからも検索・予約ができます。ぜひご利用ください。

<http://www.parti.jp/>

わたしのままでママをやる

よしもとばなな・内田春菊・中村うさぎ・倉田真由美 著／WAVE出版



4人の女性作家が精神科医の斎藤学を囲んで、産むこと、子育てなどについて本音で語り合う。3.11後、今、命の話、母の話。「不器用だっていい、私たちは愛するために産まれてきたのだから」「つながりあって強くなる」…など、女性が楽になれる一冊。

専業主婦のキャリア再開発

奥津 眞里著／風間書房



主婦が就活をめざすとき、再就職を決断した女性は何を考えたのか。女性のキャリア形成に関する意識調査と実態調査をもとに、多くの事例などから浮かび上がる再就職の実態に迫る。

家族の笑顔を守ろう! パパの危機管理ハンドブック

安藤 哲也著／ホーム社



家族がピンチに! その時パパはどうする!?

ケガや病気など身近なトラブルから、ふいの事故や災害まで。父親の子育てを支援する著者が家族に起こる危機への対応を心構えと実践の両面から紹介する。

ちいき情報 県内で活躍中のひと・グループの紹介です。

子育て支援を続けて20年、ちゅうりっぷの活動

ちゅうりっぷ・宇都宮市家庭教育オピニオンリーダー会



「ちゅうりっぷ」は県家庭教育オピニオンリーダー養成講座修了者(宇都宮市在住)の会です。現在会員は約30名。「子育ての基本は幼児期にあり」「父親の育児参加を」「社会の子としての子育て支援を」を理念とした子育て支援活動は、今年で20周年を迎えました。

現在は、地区市民センターや生涯学習センターで親子コミュニケーション講座の講師を務めたり、子育てひろばで子育て相談を受けたり、放課後の小学生の居場所施設などを実施しています。食育や生活習慣など心身の成長のためのアドバイスから、季節感豊富な楽しい遊びの伝承まで、子育て経験豊富な先輩母親として若い親たちに寄り添っています。

5月20日には20周年記念イベントを開催。活動を振り返るとともに、バリンアートやゴスペルで子どもたちと共に楽しみました。これからも「社会全体で子どもたちを育てていく」ために、活動を続けていきます。

(会長 鶴見 智穂子)

デートDV防止を寸劇で分かりやすく伝えています!

おおひら男女共同参画をすすめる会

今後出前講座を続けて、男女共同参画について多くの方に知っていただきたいです。

(会長 若菜真子)

当会は、大平町男女共同参画プラン作成委員有志により平成15年に結成されました。プラン作成後の活動は、メッセージ紙芝居「ももこの大作戦」や寸劇「父と子の食育」をはじめ11の寸劇を作成してきました。これまで大平地区の小中学校、栃木市・県の男女共同参画のつどいやフェスタinパルティなどで上演しています。

昨年のつどいの後、1年かけてデートDVをテーマに劇を創作することを決めました。月1度の定例会でデートDVの学習を深め、劇を構成するキーワードを探り、何度も書き直しながら台本を練り上げました。家族相談室・エコース代表の阿部美代子さんの助言も頂きました。

6月23日の栃木市でのつどいでは、阿部さんによるデートDVの講演と、当会の寸劇・朗読「これって恋愛?」を上演後、参加者の方がグループトークを行いました。「デートDVのことを初めて知った」「DVには精神的暴力もあるんですね」などの声がありました。練習に集まった日は限られましたが、熱心な練習による迫真の演技で、デートDVについて十分に伝えられたのでは、と思います。





こんにちは 相談ルームです

交際中にもDVはある？
～デートDVについて～

あなたは今付き合っている人がいますか？
交際相手と平等な関係で、互いに人格を尊重し合った「コミュニケーション」がとれていますか？束縛を愛情と勘違いして、無理な交際を続けていたりいませんか？

交際相手とは意見の違いがあっても、対等な関係で意見が言えたり、互いのプライバシーを尊重し合うものなのですが、このような恋愛関係を築く上で大切な事が軽視されている交際もあるようです。

特に、若いカップルでは、いつも一緒にいる事が仲の良い証拠であるかのように、束縛が愛情の強さだと相手に思わせる付き合い方をしている人達もいるようです。しかし、一方で「好きなんだけどこが変。一緒にいてつらい時もある。」と感じている方もいらっしゃいます。

デートDVには、身体的暴力のほか、心理的に追い詰める言葉の暴力、相手の同意を無視して性交渉を強要する性的暴力、借金の肩代わりの強要やデート代を全く支払わない等の経済的暴力、友達との付き合いや活動を制限するなどの社会的暴力があります。

束縛＝愛情ではありません。最近では本人が知らないうちに携帯電話をチェックされるなど、見えない暴力で気が付かないうちに自分の行動が監視されていたという事もあるようです。いくら愛情があっても、相手に対して決して許されない行為があります。

デートDVの背景には、ジェンダー（男女の差別・偏見）等、複雑な問題も絡んでいます。まず、あなた自身が「相手のどこが好きなのか」「嫌なところはないか？」「どんな恋愛がしたいのか？」「この恋愛は自分にどんな意味を持っているか？」など自分の恋愛を客観視することも必要ではないでしょうか。

「今交際中だけど、何かおかしい。」「相手との関係性に苦痛を感じる」というようなときには、ぜひ当相談ルームにご相談ください。あなたと一緒に考えていきたいと思います。

○女性のための一般相談

電話 月曜日～日曜日 9時～16時
面接 火曜日～日曜日 9時～16時

○女性のための配偶者暴力相談

電話 月曜日～金曜日 9時～20時
土曜日・日曜日 9時～16時
面接 火曜日～日曜日 9時～16時

(予約制)

○女性のための健康相談

毎月 第1木曜日 16時30分～18時30分

(予約制)

☎028-665-8720

○男性のための電話相談

毎月 第一・第三水曜日

17時30分～19時30分

☎028-665-8724

※祝祭日・年末年始はお休みとなります。

不妊専門相談センターから

～治療後の妊娠・育児に関する
悩みもご相談下さい～

不妊専門相談センターには、不妊治療中の方、治療を始めようと考えている方、治療を休もうか終了しようか迷っている方、また、妊娠はするものの流産を繰り返してしまふ、いわゆる不育症で悩んでいる方など、さまざまな相談が寄せられます。それらの中には、治療後に妊娠した方からの相談もあります。その内容は、妊娠による身体の変化への疑問や不安、食事や運動などの日常生活での注意点、子どもの成長や授乳などの育児に関する悩みや不安など、さまざまです。

妊娠を心待ちにしていた方は、妊娠したことでも嬉しい気持ちを抱く反面、初めての状況に戸惑う方も少なくありません。また、流産を経験したことのある方は、また流産をするのではないかと、という不安をもたれることもあります。妊娠は嬉しい出来事ではありますが、同時に不安を抱くこともあるのです。

相談される方の、一人一人の状況はまったく同じではありません。初めての妊娠や、育児について不安や疑問を抱くことは自然なことです。不安や疑問は一人で抱え込まず、誰かに話してみましよう。妊娠や育児に関する相談は、受診先の病院や各市町の保健センター、県の健康福祉センター等でも行っていますし、当センターでも受け付けています。

当センターの相談員は全員助産師です。で、妊娠や育児に関するご相談にも対応できます。「不妊治療は終わっているのに、相談してもいいのだろうか・・・」と迷わずに、是非当センターをご利用下さい。

●助産師による相談

○火曜日～土曜日
10時～12時半、13時半～16時

●医師による相談

○毎月第4木曜日（要予約）

●グループ相談会

○毎月開催（要予約）

詳しくは電話又はメールでお問い合わせください。

専用電話：028-665-8069

Eメール相談：funin@part.jp

パルティのホームページ

<http://www.parti.jp/>で不妊に関する詳しい情報がみられます。

しなやかさアップ！ バレエ・エクササイズ (全4回)

優雅なクラシックバレエの動きを楽しみながら、全身の筋力が自然と鍛えられるエクササイズです。

●開講日・テーマ・講師

①10/4(木) ②10/11(木) ③10/18(木) ④10/25(木)

バレエインストラクター 飯塚 弘美
ゆったりとしたストレッチで体をほぐした後、簡単なバーレッスンとセンターレッスンをを行います。中高年の方でも参加可能な内容です。

●時 間 10:30～12:00

●対 象 女性

●定 員 20名

●受講料 4,000円

●申込締切 9/4(火)

※この講座は満6カ月から未就学児までの保育が可能です。

男女共同参画&協働の視点で考える防災講演会

災害をのりきるには、ふだんから男女共同参画と協働を進めることが大切です。3.11後をふりかえり、これからの災害対策について、みんなで考えます。

●開講日・テーマ・講師

1/29(火)

「みんなで考える、これからの防災・減災・まちづくり

～なぜ女性の視点が必要か」

東日本震災の発災後、避難所の女性たちの洗濯代行ボランティア「せんたくネット」を立ち上げるなど、被災女性のニーズを掘り起こし、支援活動を行っている宗片恵美子さんに現地からの報告と災害への備えについてお話しいたします。

講師：特定非営利活動法人イコールネット仙台 代表理事 宗片恵美子

●時 間 13:30～15:30

●対 象 どなたでも

(防災・男女共同参画・協働担当行政職員、NPOや団体の方、県民の方)

●定 員 100名

●受講料 無料

●申込締切 1/18(金)

●保育申込締切 1/8(火)

女性のための「もう一度働きたい！」応援セミナー ～離職期間をブランクにしないための再就職術～(全3回)

離職期間をブランク、主婦歴をマイナスにしないための準備術を学びます。

●開講日・テーマ・講師

①11/22(木) 子育て中のキャリアプランを考える

～自己分析から適職を知ろう！～

②11/29(木) 再就職の現状を知る

～履歴書・職務経歴書のアドバイス～

③12/ 6(木) 面接に役立つリクセス法

～アロマを使い、面接の練習～

彩ライフデザイン研究所代表 キャリアカウンセラー 川鍋 節子

●時 間 10:00～12:00

●対 象 今すぐに再就職を考えていないが、いずれは再就職したいと思っている女性

●定 員 20名

●受講料 1,000円

●申込締切 10/23(火)

※この講座は、雇用保険受給対象の講座とみなされます。

雇用保険受給資格者証をご持参ください。

※この講座は満6カ月から未就学児までの保育が可能です。

※1回目と3回目は参加者同士の交流会があります。

(子育てしながら再就職したパルティスタッフも加わります)

男の生活工房～作って食べて暖話して～ (全6回)

身近な食材で手軽な料理、舌つづみと共に気軽に語らいを。料理の楽しさを体験してみませんか！

●開講日・テーマ・講師

①10/27(土) すぐできる家庭料理

とちぎ未来農業研究会員 白居 芳美

②11/17(土) 男の台所

料理研究家 豊田 功

③12/ 1(土) 身近な食卓

フードコーディネーター 熊倉 シゲ子

④12/15(土) 師走は手打そば

いろりの会メンバー

⑤ 1/12(土) 本格和食

割烹「酔心」料理長 佐藤 栄作

⑥ 1/26(土) ランチで暖話

P.G.N.ひまわり

●時 間 10:00～14:00

●対 象 男性

●定 員 25名

●受講料 2,000円 (別途材料費3,000円 ※全6回分)

●申込締切 9/27(木)

女性のセカンドライフ充実講座 自立した「おひとりさま※」を目指して(全2回)

第2の人生を、自立した「おひとりさま」として自分らしくいきいきと過ごす術を学びます。

●開講日・テーマ・講師

①11/28(水) 最期まで思いっきり人生を楽しむコツ

NPO法人 SSSネットワーク代表 松原 惇子

②12/12(水) 知っておきたい自立のためのマナー・制度あれこれ

株式会社 エフピーウーマン代表取締役 大竹のり子

●時 間 13:00～15:30

●対 象 女性

●定 員 20名

●受講料 2,000円

●申込締切 10/30(火)

※ここでは、結婚している人も、していない人も、自分ひとりの時間や生活を楽しむことができる「ひとりという意識をもつ人」をいいます。

パルティキャリア塾Ⅰ 職場で活かす！コミュニケーション&メンタル講座(全2回)

NLPとコーチングを学び、人間力を高めよう！

●開講日・テーマ・講師

①11/17(土) NLPで紐とく“人間の脳と心と体のつながり”

自己理解・他者理解を深めよう！

②12/ 1(土) 自分の気持ちを上手にコントロール！しなやかに自分も相手も楽しむコミュニケーション

国際コーチ連盟プロフェッショナル認定コーチ

米国NLP協会認定マスタープラクティショナー 木村 純子

●時 間 10:00～15:00

●対 象 2日間とも受講可能な女性

●受講料 4,000円

※各回30分程度交流会を実施

●定 員 25名

●申込締切 10/17(水)

パルティキャリア塾Ⅱ 「仕事力」ブラッシュアップセミナー (全2回)

自分磨きで、仕事がかどる、面白くなる！

●開講日・テーマ・講師

①1/26(土) 右脳も左脳もフル活用！頭と心の「超」整理法

～マインドマップでわたしマネジメント～

ブザン公認マインドマップインストラクター 安田真知子

②2/ 3(日) ココロをつかみ、共感される伝え方

～ボイストレーニングでプレゼン達人～

フリーアナウンサー 臼井 佳子

●時 間 10:00～15:00

●対 象 2日間とも受講可能な女性

●定 員 25名

●受講料 4,000円

●申込締切 12/20(木)

※各回30分程度交流会を実施

アサーティブ・トレーニング講座(全2回)

【き】いて、【も】とめて、【ち】かづいて、こじれない人間関係のレッスン

●開講日・テーマ・講師

①1/19(土) ②1/20(日)

特定非営利活動法人TEENSPOST 代表

思春期・家族カウンセラー 八巻 香織

●時 間 10:00～16:00

●対 象 2日間とも受講可能な方

●定 員 30名

●受講料 4,000円

●申込締切 12/19(水)

※アサーティブとは、自分と相手とお互いの権利を尊重し、シンプルに誠実に伝えあうことで、対等なコミュニケーションをつくる自己信頼に基づく自己表現です。



平成24年度 講座のご案内



がついている講座は一時保育(満6ヶ月から未就学児)あり



がついている講座は一時保育(1歳から未就学児)あり

お申し込み・お問い合わせは

パルティ まで
電話・FAX・ホームページ・直接来館にて

携帯電話での
申込みはこちら



P14の講座

TEL 028-665-8323

FAX 028-665-8325

P15の講座

TEL 028-665-7706

FAX 028-665-7722

URL http://www.parti.jp/

パルティ 検索

フェスタinパルティ 公開講座 「働き方革命～あなたが今日から日本を変える方法～」

長時間労働や休日出勤と子育て・介護など、仕事と家庭の両立が難しい日々…今の働き方で良いのだろうか？自分からアクションを起こして、「働き方」を変えてみよう！無駄な時間を減らし、家族・地域・社会をつなげて、生活を充実させる。自分らしいワーク・ライフ・バランスをデザインしよう！



講師
駒崎 弘樹

●開講日・講師

11/11(日) NPO法人フローレンス 代表理事 駒崎 弘樹

●時 間 13:30～15:00

●対 象 どなたでも

●定 員 200名(申込先着順)※定員になり次第、締め切ります。

●受講料 無料 ※整理券が必要

●申込方法

パルティホームページの専用申込フォーム、往復ハガキ(返信用ハガキには宛先を明記)、直接来館のいずれかにより、①氏名②住所③電話番号④年齢⑤一時保育希望の有無を明記の上お申込ください。整理券を返信します。

●保育申込締切 10/16(火) ※申込先着順

●講師プロフィール

IT企業の学生社長を経て、卒業後NPO法人フローレンスを立ち上げ、保育の糧と言われた「病児保育事業」に取り組む。中小企業の働き方について見直す「ワークライフバランス事業」のパイオニアとして、また、育児・子育て支援や男女共同参画等に関して、企業・行政・大学等で講演を多数実施。2007年ニューズウィーク「世界を変える社会起業家100名」に選出、2010年内閣府非常勤国家公務員(政策調査員)、厚生労働省「イクメンプロジェクト」推進委員、2012年AERA「日本を立て直す100人」に選出、4月より慶応義塾大学非常勤講師に任命される。主な著書：「働き方革命～あなたが今日から日本を変える方法」、「社会を変える」を仕事にする一社会起業家という生き方、「社会を変える」お金の使い方」など

父親の子育て応援講座～育児&育自を楽しむおの手この手～(後期)(全2回)

パパを楽しむコツを知ると、毎日が楽しくなります！(親子参加型講座)

●開講日・講師

①12/1(土) 子どもと一緒にハッピータイム

～おもしろサイエンスショー&わくわく工作体験～

②12/8(土) わくわくグランディ科学ランド

～パパが読むとおもしろい！絵本で子育て～

～パパが力を磨く講演&絵本読み聞かせ～

NPO法人ファザーリング・ジャパン ファウンダー 安藤 哲也

●時 間 10:00～12:00

●対 象 ①小学1～6年のお子様とその保護者 ※この講座は、

②満6ヶ月以上の未就学児とその保護者 ①のみ満6ヶ

各回30組(先着順)●受講料 無料 月から未就

●申込締切 ①11/30(金) ②12/7(金) 学児までの

●保育締切 ①11/6(火)※ ②保育なし 保育が可能

です

男のライフバランスを考える講座(全2回)

男性のためのセルフ・パワーアップ講座～これからの人生を自分らしく生きる！～

●開講日・テーマ・講師

①2/ 9(土) ストレスマネジメント講座

～ストレスと上手につきあうコツ～

②2/16(土) アイ・こころのクリニック 院長 原 隆

男の手術理術 ～カラダに優しい食育ミニ講座～

(有) オーベルジュ オーナーシェフ 音羽 和紀

●時 間 ①14:00～16:00 ②10:00～12:30

●対 象 男性

●定 員 30名

●受講料 無料(②のみ別途材料費2,000円がかかります)

●申込締切 1/31(木)

●保育締切 1/15(火)

不妊・流産に悩む人のグループ相談会

同じ悩みを持つ人に“会いたい”“聞きたい”“話したい”という人たちの集まりです。

●開講日・テーマ・講師

① 9/15(土) 不妊に悩む女性

②10/18(木) 流産に悩む女性

③11/17(土) 治療をやめた女性とやめようか悩んでいる女性

④12/20(木) 不妊に悩む女性

⑤ 1/19(土) 二人目以降の不妊に悩む女性

⑥ 2/21(木) 治療をやめた女性とやめようか悩んでいる女性

進行：不妊専門相談センター相談員

就職準備相談会

キャリアアドバイザーによる個別指導で、きめ細やかな対応ができます。

●開講日・テーマ・講師

①1/26(土) 適職探し相談会・応募書類の書き方相談会

②1/27(日) 社会人のマナー・面接体験相談会

進行：パルティ キャリアアドバイザー

●時 間 いずれも10:00～15:00

●対 象 就職準備中の女性

●定 員 10名程度

●受講料 無料

●申込締切 各開催日前日 ●保育締切 いずれも1/5(土)

※この講座は、雇用保険受給対象の講座とみなされます。雇用

保険受給資格者証をご持参ください。

※1歳未満のお子さんの一時保育はありませんが、同伴での受

講は可能です。(詳細はお問い合わせください。)

●時 間 13:30～15:30

●対 象 不妊・流産に関連した悩みを持つ女性

●定 員 10名程度

●受講料 無料

●申込締切 開催日前日

※お申し込みは栃木県不妊専門相談センターまでお願いします。

TEL 028-665-8099

火曜日～土曜日

10:00～12:30、13:30～16:00



栃木県から

ヒューマンフェスタとちぎ 2012 in 小山
～人とひと つなぐ絆は思いやり～

- ◆開催日時・主な内容（内容は変更する場合あり）
9月30日（日）10：00～16：30
◇ピアニスト辻井伸行さんの母
辻井いつ子トークショー「親バカ」のススメ
～子どもの才能を引き出す法則とは～
◇ダイヤモンド☆ユカイ
ハートフルライブ&トーク
◇それいけ！アンパンマンショー [2回公演]
◇映画上映 など



ダイヤモンド☆ユカイ

※さまざまな人権にかかわるブースの出展や体験コーナーを予定しております。ぜひ、ご家族そろってお出かけください。

- ◆場所 栃木県立南体育館（入場無料）
◆問い合わせ先
栃木県県民生活部人権施策推進課
☎ 028（623）3027

小山市から

男女共同参画セミナー
「いつまでも素敵な生き方をするために」
～健康寿命を延ばすヒント～

- ◆日時・内容・講師
①9月25日（火）14：00～15：30
「脳と体をいつまでも元気に！」
講師：島田 和幸氏（小山市市民病院 病院長）
②10月3日（水）14：00～15：30
「プロが伝授 らくらく介護の実践と予防」
講師：長山 圭子氏（中央福祉医療専門学校 専任教員）
③10月9日（火）14：00～15：30
「腰痛、体のゆがみエクササイズ」
講師 間中 妙和氏（フィットネスインストラクター）
◆場所 小山市男女共同参画センター（八幡町1-4-5）
※要申し込み
◆問い合わせ先
小山市男女共同参画課
☎ 0285（22）8078

鹿沼市から

ときめき鹿沼 2012
「真打ち落語家の笑いで聞くと
～私らしいワークライフバランス～」

- ◆日時 9月29日（土）13：30～15：30
◆場所 鹿沼市民情報センター
◆内容 落語家 春風亭鹿の子さんの講演
- 男女共同参画セミナー in かぬま
「地域に広げよう、参画の輪」
- 11月7日（水）13：30～15：30
◆内容 「男性介護：オヤジの介護」
家族を介護してきた男性の実体験に基づいた講話
◆場所 鹿沼市民情報センター
- 11月19日（月）13：30～15：30
◆内容 「輝く☆おとうさん研究」
団塊世代を生き抜いてきたおとうさん。家庭で、
地域で、潜在能力をフル発揮！
まだまだ輝く人生を…
◆場所 鹿沼市民情報センター
- 11月29日（木）
・市外研修 ～栃木市
◆問い合わせ先
鹿沼市市民部人権推進課
☎ 0289（63）8352

パルティから

楽しいイベントもりだくさん！
とちまるくんもやってくる！
フェスタ in パルティ 2012

11/10（土）10:00～16:00
今年のテーマは「わたしを変える 未来をつくる」です。
多数のグループ・団体による工夫を凝らしたワークシ
ョップ・展示販売などが行われます。
ぜひご家族・お友達お誘い合わせの上、お越し下さい。
（入場無料・申込不要）

表紙作者 よしこSUN



パルティ とちぎ男女共同参画センター

- ☆開館時間 9：00～21：00（日曜日は17：00まで）
☆休館日 ・国民の祝日
・毎週月曜日
・12月29日～1月3日
☆施設の利用 会議・イベント等にご利用ください。（有料）
☆利用申込み 受付時間 9：00～17：00
ホームページで各研修室等の貸出利用状況がご覧になれます。
詳しくは、電話にてお問い合わせ下さい。

情報誌のご意見・ご感想をお寄せください。

- 編集・発行／公益財団法人とちぎ男女共同参画財団
〒320-0071 宇都宮市野沢町4番地1 TEL 028-665-7700 FAX 028-665-7722
URL <http://www.partii.jp/>
○印刷／株式会社 井上総合印刷

